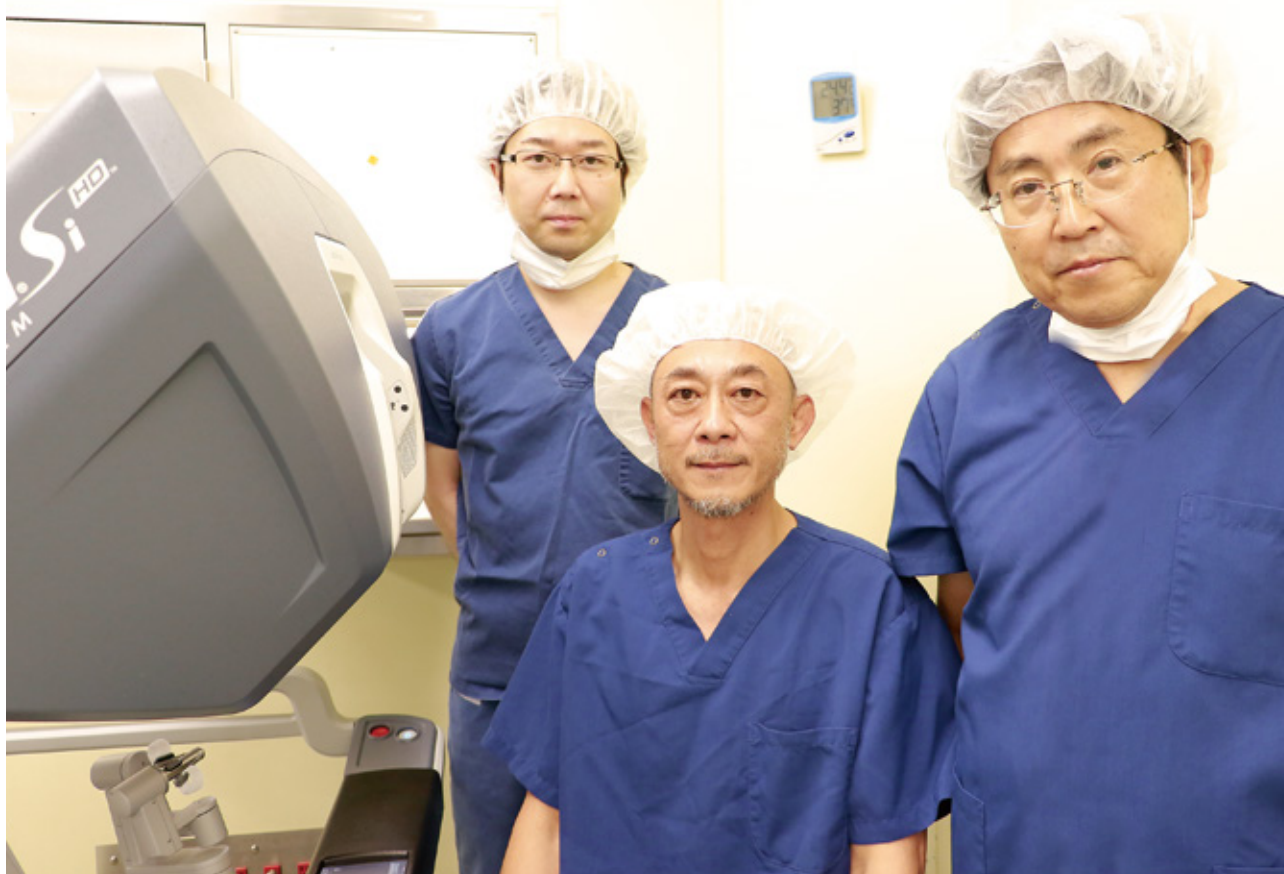


■泌尿器科からのご案内

da Vinci によるロボット手術の技術支援体制も充実。



名医に執刀してもらいたい 名医による執刀・技術指導。

本年5月19日からロボット支援手術を開始いたしました。

当院では手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』による手術の第一人者である吉岡邦彦医師（写真中央）をお招きし、泌尿器科医師をはじめ、手術室看護師、臨床工学技士が吉岡医師による指導の下、ロボット支援手術の研鑽を積んでいます。

吉岡邦彦

KUNIHICO YOSHIOKA

新百合ヶ丘総合病院ロボット手術センター長

元東京医科大学泌尿器科教授（現客員教授）

専門：悪性腫瘍手術（特に前立腺がん手術・膀胱がん手術）

ロボット外科の国際学会で、唯一の Faculty として選出されている。

● PROFILE

島根医科大学卒。慶応義塾大学医学部泌尿器科、チューレン大学留学、済生会中央病院泌尿器科を経て、2001年から東京医科大学泌尿器科。教授兼ロボット手術支援センター長を経て、2014年より新百合ヶ丘総合病院ロボット手術センター長。ロボット支援手術の執刀件数は全国No.1を誇る日本屈指の医師である。

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537
直通 FAX.048-564-2538

地域医療連携だより

2017年7月

■泌尿器科からのご案内

2017年5月より当院泌尿器科に入職された非常勤医師をご紹介します。
毎月第1・3・5火曜にダ・ヴィンチによるロボット支援手術の技術的サポート（指導）を行っています。

泌尿器科非常勤

吉岡医師 就任のご挨拶

はじめまして吉岡邦彦と申します。

この度、5月19日より始めました行田総合病院でのロボット支援手術のお役に少しでも立てよう勤務させていただきます。私がロボット支援手術に出会ったのは2005年12月。東京医科大学病院の心臓外科がダ・ヴィンチを導入することになり経験する機会を得られましたが、初めて触ってみたところ驚くほど使いやすい。自由な可動域を持つダ・ヴィンチシステムの有用性を直感し、それ以来ロボット操作の練習・練習・練習。東京医科大学泌尿器科の秦野直教授とともに、日本で初めての前立腺がんのロボット支援手術に取り組むことになりました。

悪戦苦闘・試行錯誤の末、ロボット支援手術の有用性が徐々に認識され、現在ではダ・ヴィンチ手術の利点について疑う余地がないところまで至りました。

しかし、がん細胞を取り残さない手術を実現させるのは決して簡単ではありません。ロボット特有の操作に慣れ、術式を自分のものに習得するためにはかなりの鍛錬が必要となります。澤田先生は、東京医科大学時代にロボット支援手術を共に切磋琢磨したメンバーです。現状で標準レベル以上の技術がありますが、さらなる高み・エキスパートとして埼玉県北部エリアを引っ張って行って欲しいと思います。また、泌尿器科部長・林先生とは、私が慶応大学に入局して以来、様々な手術・診療を教えて頂いた尊敬する先生であります。このようなご縁があり、今回勤務させていただくことになりました。

これまでの経験・技術を少しでも多くの医師に伝え、行田総合病院でロボット支援手術を受ける患者さま・ご家族に貢献できるよう努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



地域完結型医療体制へ向けて 副院長 / 泌尿器科部長 林 暁

5月から開始しているダ・ヴィンチによるロボット支援手術。すでに数症例を行っておりますが、いずれの症例も術後の経過は順調です。今回ご紹介させていただく吉岡先生におかれましては、我が国におけるロボット支援手術の第一人者です。数多くの訓練と手術を重ねた経験が速さと正確さを兼ね備えた手技につながっています。吉岡先生のノウハウを当院泌尿器科の医師を始め手術室看護師、臨床工学技士が貪欲に学び、より質の高い治療を患者さまへ提供していきます。利根医療圏の人口構成は2015年時点で高齢者が2万5000人、2030年には約3万2000人へと大幅な増加が予想されています。それに伴い前立腺がんなどの悪性疾患も増えることでしょう。増加が予想される症例に対して十分対応できるように体制・教育を充実させ、「地域完結型医療体制づくり」に向けて救急医療、がん治療のさらなる充実に努めてまいります。地域の先生方のご協力を宜しくお願い申し上げます。